

こっこめ通信 10 2025

「秋はいつから？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

8月に引き続き9月も雨の降った日が少なく、降水を記録した日が13日でした。台風の接近や秋雨前線の影響も少なく、雨風の強い日も少なかったです。そのため、八丈富士の裾野のオオシマザクラが葉を落とさず、ピクニックセンターから見ると黄色く紅葉し始めているのが分かります。

さて、今回は「植物公園の芝生にいますのは?」「9月までの渡りの様子」についてのお話です。

植物公園の芝生にいますのは?



マダラバッタ
(褐色型)



マダラバッタ
(緑色型)



オンババッタ



ツチイナゴ
(幼虫)



シバズ



クビキリギス
(幼虫)



9月初めに園内の芝生地は芝刈りが行われましたが、1ヶ月も経たないうちにとイネ科やカヤツリグサ科が伸び始めてきました。そんな芝生を歩くと元気に跳びはねるバッタの仲間たちがたくさんいます。日の当たる場所と当たらない場所、また、伸びている植物によって見られるバッタの仲間が違います。10月に小学生たちが秋の虫探しで来園してくれることもあり、園内芝生地の飛び跳ねるバッタを調べてみました。

歩いていると一番元気に飛び跳ねるのは「マダラバッタ」よく見ると体が褐色のタイプと緑色のタイプがいます。飛んだ後に少しUターンして、こちらの様子を伺うのが面白いです。芝の間にいる大きさが6mm程の小さな「シバズ」は耳を澄ますと『ジーー』と鳴いているので鳴き声から探すと見つかるかもしれません。少し背の高い草地に多い「ツチイナゴ」や「クビキリギス」は、成虫で越冬するので幼虫も確認できました。これからよく目につく「オンババッタ」も大きくなって探しやすくなりました。他にも「トノサマバッタ」「ハネナガイナゴ」「ホシササキリ」「エンマコオロギ」も見つけました。バッタ?と思って近づくと蛾のこともあります。

芝刈りした後は、左下の写真のような感じですが。この中に1匹の「マダラバッタ」がいますか?飛ぶと直ぐに分かるのですが、じっとしていると見つけにくいです。飛んで着地した後もこんな感じです。

答えは最後のページで! (H.T.)

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

9月までの渡り鳥の様子

八丈島でも8月になると越冬地へ向かう渡り鳥の姿を見かけるようになります。今年は例年より特に少ない状況ですが、それでもさまざまな鳥たちが確認されているので紹介します。

▶ 8月初めに確認した常連の「タカブシギ」は30羽越えの数でした。これだけの数を島の中で見たのは初めてです。▶ 春にも必ず立ち寄る「ヤツガシラ」は8月に戻ってくる年と9月以降に戻ってくる年がありますが、今年は8月中旬でした。▶ 8月後半になると「シギチの仲間」が立ち寄ります。しかし、それぞれ1羽から数羽のことが多く、群れで来るのは「ムナグロ」くらいでしょうか。▶ 「セイタカシギ」は、1羽ずつ、計8羽立ち寄っています。中にはまだ足の色が薄い幼鳥の姿もありました。▶ 「カワセミ」も春と秋に必ず渡って来ます。▶ 「ツバメ」は大きな群れではなく、家族単位で8月上旬から姿を見せてくれます。昔は島で繁殖もしていましたが、現在は渡りの途中に立ち寄るだけとなっています。▶ 9月後半になると「コガモ」などカモの仲間がやって来ますが、大きな群れで来ることは稀です。▶ 下の写真の他に、「キセキレイ」「クサシギ」「キアシシギ」「シメ」「チョウゲンボウ」「ミサゴ」は確認できています。(ビジターセンター調べ)

まだまだ少ないものの、これからいろいろな鳥がたくさん渡ってきてくれると嬉しいですね。(H.T.)



2025年8月5日
鴨川供養橋付近にて
タカブシギ(左)とイソシギ(右)



2025年8月12日
八重根漁港にて
クロハラアジサシ



2025年8月16日
旧末吉小中学校前にて
ヤツガシラ



2025年8月21日
南原スポーツ公園にて
エリマキシギ



2025年8月26日
南原スポーツ公園にて
ヒバリシギ



2025年8月26日
南原スポーツ公園にて
オバシギ



2025年9月6日
南原スポーツ公園にて
セイタカシギ(幼鳥)



2025年9月11日
和泉親水公園にて
カワセミ



2025年9月17日
三原林道にて
エゾビタキ



2025年9月23日
南原スポーツ公園にて
ツバメ(幼鳥)



2025年9月21日
鴨川供養橋付近にて
コガモ



2025年9月26日
鴨川灌漑にて
ゴイサギ

八丈植物公園季節調査会の報告

今回は参加者がいなかったため、ビジターセンターのスタッフだけで園内を回りました。島内ではもう咲き始めたヒガンバナですが、公園内の株は少し遅いようですよやく花茎を伸ばして蕾をつけていました。ほんのり緋色に色付いた蕾は来週には咲き始めるでしょうか。せっかく咲いても心無い人に取りられてしまうのではないかと心配です。植物公園に咲いている花々は花が枯れるまでガイドウォークや季節調査会の時に観察しているので、どうか手折ってしまわないようにお願いします。(M.K.)

八丈植物公園季節調査 2025 年 9 月 14 日 (日)、天気：晴れ、気温：31.0℃ 調査者：0 名 VC：2 名

1	ヤブニッケイ	若い実、ニッケイハミャクイボフシ目立つ			
2	タコノキ	強風の影響で倒れてしまったため、記録を取らず			
3	オオタニワタリ	長さ：105.9cm 幅：13cm			
4	ニオイウツギ	葉の焼け目立つ、若い実			
5	ニオイバンマツリ	蕾多数			
6	オオシマザクラ	食害目立つ、若い葉目立つ			
7	アオツツラフジ	蕾・花	38	スイカズラ	実
8	アオノクマタケラン	若い実	39	センダン	実
9	アガパンサス	実	40	センニンソウ	蕾・花
10	アカビロウ	花・若い実	41	ソウシジュ	実熟す
11	アシタバ	蕾・花	42	タケダグサ	花
12	アベリア	花	43	タチスズメノヒエ	実
13	アロウカリア	種落ちる	44	ツルボ	花・実
14	インドゴムノキ	実熟す	45	テイカカズラ	実
15	ウスベニニガナ	花	46	テリハノブドウ	実
16	ウリクサ	花	47	トキワハゼ	花
17	オオキンバイザサ	花	48	トベラ	若い実
18	オオムラサキシキブ	若い実	49	ナガエコミカンソウ	実
19	オヒシバ	花・実	50	ナギ	実
20	ガクアジサイ	実	51	ニガカシュウ	花
21	カナリーヤシ	実	52	ニチニチソウ	花
22	カヤツリグサ	花	53	ノシラン	花
23	カラムシ	花	54	ハイビスカス	花
24	キツネノマゴ	花	55	ハゼノキ	実・紅葉
25	キバナシュクシャ	実	56	ハチジョウシュスラン	花
26	キョウチクトウ	花	57	ハナシュクシャ	花・実
27	クズ	花	58	ハハコグサ	花
28	クロツグ	実	59	ハマユビウ	実
29	クロマツ	球果	60	ヒガンバナ	蕾
30	クワズイモ	実熟す	61	ヒナギキョウ	花
31	コニシキソウ	実	62	ヒメクグ	花・実
32	コミカンソウ	花・実	63	ヒメモンステラ	実
33	サルスベリ	花・若い実	64	ヒメズリハ	若い実
34	シコンノボタン	花	65	ヘクソカズラ	花
35	シチトウタラノキ	蕾	66	ベニツツバナ	花
36	シマクサギ	花・若い実	67	ベニフデツツアナナス	蕾
37	シマナガバヤブマオ	蕾・花	68	ホウライアオキ	蕾・花・若い実・熟した実
69	ホルトノキ	若い実	70	ムクゲ	蕾・花
71	メヒシバ	実	72	モチノキ	実
73	モッコク	実	74	モンステラ	蕾・花・若い実
75	ヤエムグラ	蕾・実	76	ヤブツバキ	若い実
シダ植物					
1	イシカグマ	孢子嚢			
2	オオイタチシダ				
3	オニヤブソテツ				
4	カニクサ				
5	スギナ				
6	タチクラマゴケ	紅葉			
7	タチシノブ	孢子葉			
8	タマシダ				
9	トラノオシダ	孢子嚢			
10	ノキシノブ	孢子嚢			
11	ハチジョウカナワラビ	孢子葉			
12	ハチジョウシダ	孢子嚢			
13	ヒトツバ	孢子葉			
14	ヘラシダ	孢子嚢			
15	ホシダ	孢子嚢			
16	ホラシノブ	孢子嚢			
17	マツバラン				
18	マメツタ	孢子葉			
19	ミゾシダ	孢子嚢			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも記録のある「エゾビタキ」にスポットを当ててみたいと思います。



エゾビタキ *Muscicapa griseisticta*

ヒタキ科サメビタキ属。シベリアやカムチャツカで繁殖し、東南アジアの島々で越冬します。日本には、春と秋に渡りの途中に立ち寄る旅鳥。八丈島では越冬地に向かう秋だけ観察されています。

枝から飛び立ち、飛びながら虫を捕まえる「フライングキャッチ」をします。左の画像は2010年10月31日に植物公園内で撮影したものです。毎年ではないですが公園内でも見られます。(H.T.)

2025 10

ハチビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、ハチ島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 ガイドウォーク
5 ガイドウォーク	6	7	8 寒露	9	10	11 ガイドウォーク
12 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	13 ガイドウォーク 東京都文化財ウィーク 企画事業「ヘゴ北限自 生地と不動の滝」	14	15	16	17	18 ガイドウォーク
19 ガイドウォーク	20	21	22	23 霜降	24	25 ガイドウォーク ハ文学講座「秋の 虫を探してみよう」
26 ガイドウォーク	27	28	29	30	31	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10 / 12 (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

東京都文化財ウィーク企画事業 「ヘゴ北限自生地と不動の滝」

国天然記念物ヘゴ北限自生地、その先の不動(御幸)の滝と近藤富蔵が彫った不動明王石像を訪ねます。
10 / 13 (13:30～15:30) 中学生以上(沢を歩ける方)
三根大川浄水場上集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ハ文学講座 「秋の虫を探してみよう」

毎月行っているハ文学講座。ホテル水路周辺で秋を感じる虫を探しましょう！
10 / 25 (13:30～15:00) 中学生以上
和泉親水公園トイレ前集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ ハチ・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ ハチ島

14:00～ おじゃりやれ ハチ島

15:00～ おじゃりやれ ハチ島

16:00～ ハチ・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都ハチビジターセンター 2025.10.1 第293号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都ハチ島ハチ町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記



1ページ目の答えは左下にマグラバッタの姿があります。10月に来園する小学生は低学年なので、見つけることはできるでしょうか？着地した後もこのような感じですが、しっかり飛んだ軌道を追えば見つかるかな？(H.T.)